

富津市立保育所自己評価書

(金谷保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和6年4月～令和7年2月

令和7年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	<p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連絡を密に取りながら子どもの健康状態に留意し、変化が見られた時にはすぐに対応出来るようにしている。 ・年2回、嘱託医による健康診断を実施し園児の健康発達の把握をしている。また、緊急時にも相談ができるよう診療時間外でも連絡が取れる連携体制を取っている。 ・保護者には園児の感染症予防の為の情報提供や啓発を随時行っている。
	<p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模保育のメリットを活かし、ゆったりとした生活の流れのなかで家庭的な保育を実践している。
	<p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの興味や関心に目を向け、思う存分取り組むことが出来るよう環境を整えている。
人間関係	<p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの自己肯定感が育つよう、担任や年齢の枠を超え、職員全体が一人ひとりと深く関わることで、どんな時も自分の存在を受け止めてもらえ、見守られている安心感が持てるようにしている。
	<p>生活や遊びの中で、身近な人への関心をもち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢保育を通して、様々な活動を一緒に経験することで、思いやりや憧れの気持ちが自然に育っている。また、経験したことがそのままごっこ遊びへと繋がっていた。 ・文字に興味を持ち始め、お手紙ごっこが盛んに行われるようになったので、ポストや郵便バックを用意し、お手紙を配達する郵便屋さんごっこを楽しんだ。 ・ままごとやピクニックごっこなど家庭での出来事を子ども同士で配役やストーリーを展開し楽しんでいた。園外保育後に遠足ごっこを楽しむ様子も見られた。

	<p>自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。</p>	<p>A</p>	<p>・年齢や発達段階に応じて保育士が仲立ちとなり互いの子どもの思いを受け止め、代弁していくことで、相手の気持ちに気付くことが出来るようになったり、自発的に思いやれるようになったりしている。</p>
	<p>生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。</p>	<p>A</p>	<p>・決まりを守る大切さについて理解しやすいよう、絵本や紙芝居を使ったり、実際にその場面に遭遇した時には話し合ったりし、知らせ方の工夫をしている。 ・ルールを守ると遊びが楽しくなるということに自分から気付けるよう関わっている。</p>
<p>環境</p>	<p>安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。</p>	<p>A</p>	<p>・恵まれた自然環境を活かした戸外活動を積極的に取り入れ、思う存分自然に親しむことで、いろいろな発見があったり、体験したことが行事に繋がっていったりした。</p>
	<p>生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。</p>	<p>A</p>	<p>・日々の生活や遊びの中から、子ども達が様々な事に気付けるよう声をかけたり、共感したりしている。また、保育士が最初から答えを示すのではなく、自分なりに考えることを大事にしている。</p>
	<p>自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。</p>	<p>A</p>	<p>・一年を通して野菜や果物の栽培をし、生長や収穫の喜びを知る。毎日欠かさずに世話をすることの大切さも知ることができた。 ・地域の方から稲苗を分けしてもらい、プランターを使用して田んぼを作る。春の田植えから秋の稲刈り、脱穀、粳すり、精米までの米作りを経験することで、日頃食べているお米がどのようにして作られるのかを知り、農業への理解や食べ物への感謝の気持ちが育った。 ・夏の磯遊びでは、様々な生き物を見つけては観察することを繰り返し楽しむことで、生命の神秘や不思議さを直に感じることもできた。 ・実りの秋には、どんぐり拾いや松ぼっくり拾いに出掛けた。種類や大きさの違うどんぐりがあることを知ったり、制作物(クリスマスツリー・リース)に利用したりして楽しんだ。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・鋸山登山を何度も経験し、春には桜、秋には紅葉のもみじの登山道を歩き、四季折々の自然の美しさを知ったり、冬には吐く息の白さに気付いたりした。頂上から眺める景色に感動し「やっほー」と歓声をあげながら眺めた。
	<p>日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに興味をもつよう心がけている。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園外保育で標識や看板を目にする機会が多くあった。興味に合わせて一緒に読んだり、意味を話し合ったりした。 ・交流保育や施設見学後、お礼の手紙を書いたり、色々な人との手紙のやり取りを楽しんだりした。 ・当番活動、かるた、トランプ、すごろく等、遊びの中で文字や数に親しむ機会を多く持ち、自分で書きたいという文字への興味が深まった。 ・50音ポスターを掲示し、目にふれることで文字への興味を持てるよう環境を整えた。
言葉	<p>保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員が全ての場面において肯定的な関わりと言葉かけをし、スキンシップを通じて愛着を形成することで、子どもが自分の思いを安心して伝えることが出来るように心掛けている。
	<p>絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日、絵本の読み聞かせの時間を作り、子どもが自ら「読んで！」と持ってくる絵本を膝の上で読み聞かせたりしている。また、子どもの年齢発達やその子の興味に合った絵本を購入している。
	<p>保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いを言葉にして伝えられるよう、子ども同士の会話のやりとりの時間を大切にしたら結果、言葉の表現が育ち、互いの思いが伝わりやすくなった。
	<p>生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。</p>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いを汲み取りながら場面に応じた言葉の使い方やその意味を保育士が代弁していき、正しい言葉の使い方や語彙力が高まるように関わった。

表 現	水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・室内では紙や廃材の工作をし、友達と見せ合い、誉めあったりした。戸外では水、砂、土、海水、砂浜に触れる機会を多く持ち、友達や保育士と一緒に穴を掘ったり、山を作ったり、共同作業に夢中になった。
	音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して、リズム遊び、わらべうたを行う。一年間のリズム遊びの取り組みについて、公開リズムを開催し保護者に知ってもらった。
	生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で見つけてきた自然物やその他の材料を使っておもちゃを作ったり、制作をしたりして楽しんだ。 ・季節の移り変わりや自然事象、植物(野菜の生長、収穫、食べる)、生物(発見、捕獲、飼育観察)、教材(絵具の発色の変化等)、様々な物事に対して、見たり触れたりし、子ども達と感想を話し合ったり、変化を楽しんで新たな発見に繋がったりした。
	生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士も子ども達と一緒に遊び、活動を共にすることで、子どもの何気ないつぶやきや気持ちを聴き逃さないようにしているため、日々様々な発見があり、伝え合う事や感動する機会が多い。
保護者への支援	一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加を実施し、金谷保育所の特色である磯遊びや鋸山登山と一緒に経験してもらい、日々の自然体験の様子を知ってもらうことができた。必要に応じて個人面談の実施もする。 ・送迎時には、保護者一人ひとりとお子さんの様子について密に連絡を取り合う。 ・保護者が安心して子育てができるよう、思いに寄り添い、必要があれば関係機関と連携し個別面談や療育支援等の対応をしている。

	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・児童票や連絡ノート等を通し必要な情報については記録を残している。保護者からの質問や相談事にも丁寧に答えるよう努めている。 ・保育所適正配置について、保護者説明会を開催し、保護者との意見交換を行う。今後の保育所のあり方について一定の理解を得た。 ・保育所 ITC 化に伴い、2月から登降所、出欠席連絡のシステム化を図り、スムーズな情報交換を目指している。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員は日頃から親しみやすい雰囲気を中心、態度や言葉使い等、丁寧に対応し、話しやすい環境を作った。保護者の意見には真摯に耳を傾け、難しい案件に対しては職員間で相談し、出来る限り要望に応えられるよう努力した。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・保育カリキュラム、企画書の作成をし、計画や目標に沿った活動を実践している。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見には真摯に耳を傾け、出来る限り要望に応えられるよう努力した。
	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	A	<ul style="list-style-type: none"> ・行事終了後には必ず反省会を開き、一人ひとりが取り組みについての振り返りを行うことで、次へのより良い行事へと繋がるようにしている。
その他	乳幼児や保護者に関する個人情報 を適正に取り扱っている。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭の状況や子どもの発達等に関する個人情報は、守秘義務を徹底している。また、個人情報が記録された書類等は決められた場所に保管し、園外に持ち出さない。
	園内研修を実施している。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・最低月1回保育士で園内研修を行う。(内容については、感染症対策について・災害発生時の対応について、発達が気になる子について・各職員が受けてきた研修の報告・わらべうた等)

<p>掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。</p>	<p>A</p>	<p>・日々の子どもの様子を写真付きで知らせるドキュメンテーションの掲示や、日々のお知らせに関すること、感染症についての情報、子育て支援に関する情報等、保護者に必要な情報を貼り紙で知らせている。</p>
----------------------------------	----------	---